

2025 年度（令和 8 年度）入学

名古屋市立大学大学院芸術工学研究科

博士後期課程 4 月入学（芸術工学専攻）

入 学 試 験 問 題

小 論 文 （ 60 分 ）

【 注 意 事 項 】

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この冊子は表紙を含め 1 枚あります。  
試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 3 解答用紙は 1 枚(両面)配布します。  
解答用紙には、受験番号、氏名を記入してください。
- 4 この冊子のどのページも切り離してはいけませんが、余白等は適宜利用してもかまいません。
- 5 試験終了後、問題冊子は回収します。問題冊子は持ち帰ってはいけません。

## 小論文

### 【設問】

新しい道具の登場は、常に人間の創造性を拡張してきた。今、そこに人工知能（AI）という強力なツールが加わった。

人間と機械の協働によるAI時代の「創造性」について、独自視点で論じよ。博士課程に進学後に考える自身の研究（活動）との関連記述も含め、伝わりやすい形式を考慮し600文字を超えるように作成すること。余白に説明を補助する図を描画しても良い。